

【全体概要】

愛知県は全国一のキク生産県だが、近年の業務需要の先細りから、新たな需要開拓を目的とした新規花型のかがり弁ギク3系統を開発した。従来の輪ギクとは異なることから、栽培マニュアルの作成、出荷方法の検討、市場性評価を実施するとともに、実需者とともにアレンジメントや装飾花等の活用方法を開拓、新たな需要を喚起し、ブランド力を有した品種として生産現場に導入する。

新品種・新技術等の概要



品種登録出願公表：平成30年2月23日
愛知県農業総合試験場と国立研究開発法人
量子科学技術研究機構が共同で開発。

- ★花びらの先端に複数の突起があり、「かがり弁」と呼ばれる珍しい形。
- ★花色は、白色、赤紫色、黄色の3色。
- ★出荷期間は11月から5月上旬。
- ★日持ちは従来の輪ぎく品種と同程度で、2週間以上の観賞が可能。
- ★華やかなイメージの花なので、祝い事やフラワーアレンジメントなどに適している。

主な取組内容

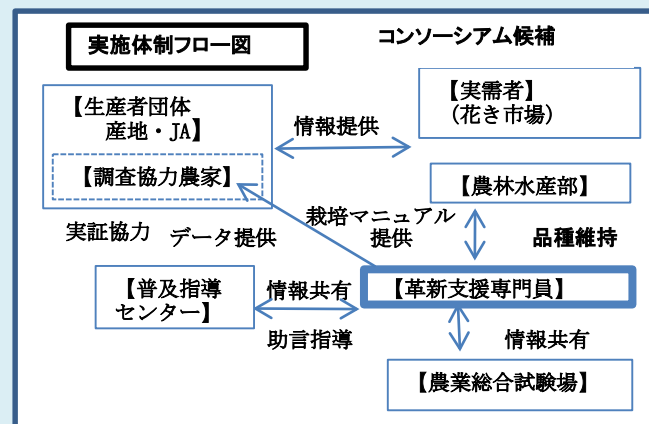
【安定供給体制の整備】

- 県内各産地で試作を行い栽培データを収集（H29）
- 栽培マニュアルの作成と出荷方法の検討（H30）
- 生産者団体に対して新品種の導入を推進（H29、H30）
- 生産者団体、JA等による「かがり弁研究会」の設立（H30）

【新需要喚起、市場性評価】

- 消費地で開催されるイベント等での展示等（H29、H30）
- 実需者を通じた市場性の評価（H30）

コンソーシアム候補の体制図



【革新支援専門員】

- 実施計画の作成と運営
- 各種検討会の開催
- 関係機関との連携
- 【生産者団体・産地】
品種導入推進、調査協力
- 【実需者】
品種展示等の協力
- 市場性評価
- 【普及指導センター】
現地調査、栽培技術指導
- 【農業総合試験場】
栽培マニュアル作成の協力
- 課題への技術対応
- 【農林水産部】
品種維持、PR支援

実績と今後の展開

【実績の概要】

- 関係者が一体となって栽培技術を開発した。
- 導入を推進する体制が整備された。
- 実需者が中心となって実施した市場性評価では、新規性が高く評価された。

【今後の展開】

- より効率的な出荷方法を検討する。
- 産地、実需者、試験場等が一体となって生産振興と需要拡大を図る。